SONY®

4-182-809-**01**(1)

デジタルスチルカメラ
取扱説明書

DSC-H55

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

⚠警告 安全のために

→ 65～68ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら 煙が出たら ➡

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(62ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(62ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

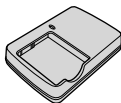
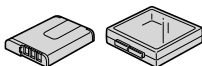
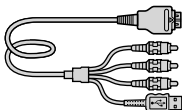
撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

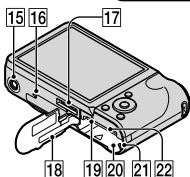
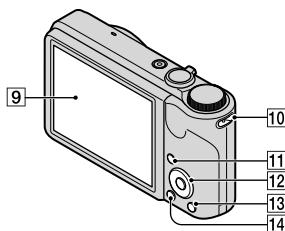
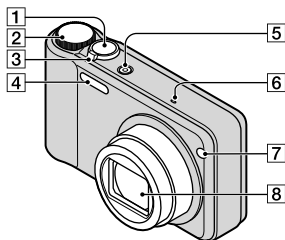
• バッテリーチャージャー BC-CSGD/BC-CSGE（1）

• リチャージャブルバッテリーパックNP-BG1（1）/バッテリーケース（1）

• マルチ端子専用USB・A/Vケーブル（1）

• リストストラップ（1）

• CD-ROM（1）
  - サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  - 「サイバーショットハンドブック」
• 取扱説明書（本書）（1）
• 保証書（1）

リストストラップを使う

本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。
落下防止のため、手を通してご使用ください。

準備する

各部の名前を確認する

1 シャッターボタン

2 モードダイヤル

3 撮影時：W/T（ズーム）レバー
再生時：Q（再生ズーム）レバー
/▦（インデックス）レバー

4 フラッシュ

5 ON/OFF（電源）ボタン

6 マイク

7 セルフタイマーランプ/
スマイルシャッターランプ/
AFイルミネーター

8 レンズ

9 液晶画面

10 リストストラップ取り付け部

11 ▶（再生）ボタン

12 コントロールボタン
メニューオン時：
▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/Ö/
☺/⚡

13 🗑（削除）ボタン

14 MENUボタン

15 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

16 スピーカー

17 マルチ端子

18 バッテリー/メモリーカードカバー

19 アクセスランプ

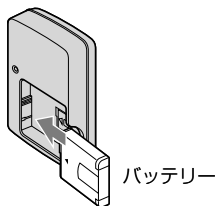
20 バッテリー挿入口

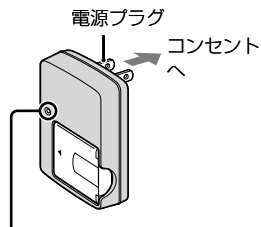
21 取りはずしつまみ

22 メモリーカード挿入口

バッテリーを充電する

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。

2 電源プラグを引き起こし、壁のコンセントに取り付ける。

CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使える（満充電）。

3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

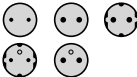
充電にかかる時間

満充電	実用充電
約330分	約270分

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリー、バッテリーチャージャーをお使いください。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約155分	約310枚
静止画再生	約370分	約7400枚

ご注意

- 撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Product Association）
  –DISP（画面表示設定）：［標準］
  –30秒ごとに1回撮影
  –1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  –2回に一度、フラッシュを発光する。
  –10回に一度、電源を入/切する。
  –満充電したバッテリー（付属）で、温度25 ℃の環境。
  –当社製の“メモリースティック PRO デュオ”（別売）を使用。

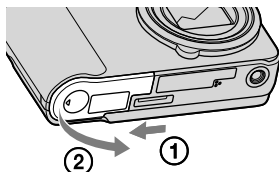
海外でも使えます

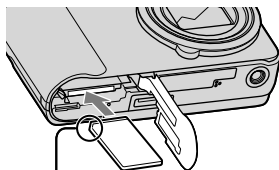
バッテリーチャージャー（付属）は全世界で使用できます（AC100 V ～ 240 V、50/60 Hz）。ただし、地域によっては壁のコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

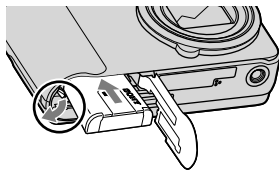
バッテリー/メモリーカード(別売)を入れる

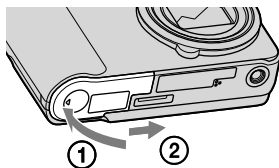
1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込む。

切り欠きの向きに注意する

3 バッテリーを入れる。

バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみを矢印の方向に押しながら入れる。

取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

4 カバーを閉じる。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

使用できるメモリーカード

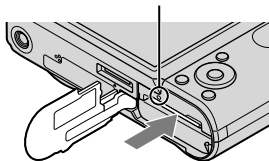
- 本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。マルチメディアカードは使用できません。
- 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティックデュオ"を「"メモリースティックデュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード を「SDカード」と表現しています。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO Duo (Mark2)("メモリースティックPRO デュオ" (Mark2))
  - MEMORY STICK PRO-HG Duo("メモリースティックPRO-HG デュオ")
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)

記録できる枚数/時間については、53ページをご覧ください。

ご注意

- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

メモリーカードを取り出す

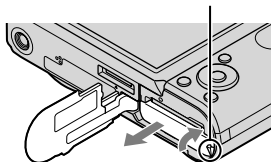
アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約45MB）に画像が記録されます。メモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENUボタン → (設定) → (メモリーカードツール) → ［コピー］を選びます。

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

バッテリーの残量を確認する

液晶画面左上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多 → なし

ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- ［パワーセーブ］設定が［スタミナ］または［標準］のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、液晶画面が暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずバッテリーケースに入れて金属から離して下さい。

時計を合わせる

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

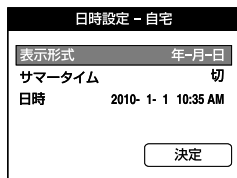
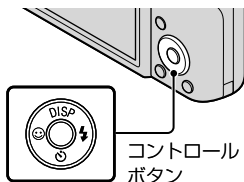
電源が入る。

- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

2 コントロールボタンの▲/▼で設定する項目を選び、中央の●を押す。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

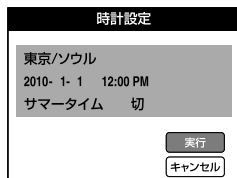
サマータイム：サマータイムの入・切を選ぶ。

日時：日付、時刻を設定する。

3 ▲/▼/◄/►で数値、好みの設定を選び、中央の●を押す。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。
- 日本では、サマータイムは［切］にする。

4 ［決定］を選び、中央の●を押す。

5 ［東京/ソウル］が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

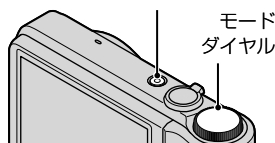
6 ［実行］を選び、中央の●を押す。

ご注意

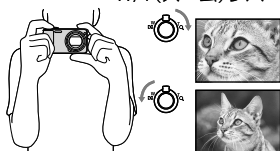
- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」（44ページ）をご覧ください。

時計合わせをやり直す

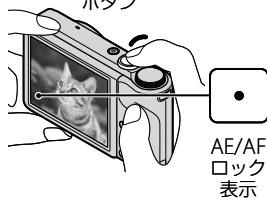
MENUボタンを押して、（設定）から（時計設定）を選びます（50ページ）。

撮る（静止画）

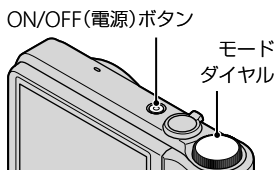
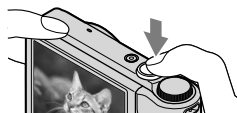
1 モードダイヤルを i（おまかせオート撮影）にして、ON/OFF（電源）ボタンを押す。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- W/T（ズーム）レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻る。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約5 cm、T側約100 cm。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

撮る(動画)

1 モードダイヤルを
Ⅲ(動画撮影)にして、
ON/OFF (電源)ボタンを押す。

2 シャッターボタンを深く押し込んで、撮影を開始する。

MOVIE (動画)ボタン

3 もう一度シャッターボタンを深く押し込んで、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームを操作すると、レンズの動作音が記録されます。

見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。

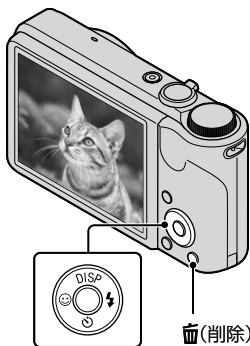
- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると、データベース登録画面が表示される。

次の画像/前の画像を選ぶ

コントロールボタンの▶（次）/◀（前）で選ぶ。

- 動画を見るには、コントロールボタン中央の●を押す。

削除する

① 🗑(削除)ボタンを押す。
② コントロールボタンの▲で[この画像]を選び中央の●を押す。

撮影に戻る

シャッターボタンを半押しする。

電源を切る

ON/OFF（電源)ボタンを押す。

見やすい表示で撮る(かんたん撮影)

撮影に必要最低限な機能だけを設定でき、文字が大きくなり、見やすい表示になります。

1 モードダイヤルをEASY(かんたん撮影)にする。

できること	変更方法
セルフタイマー	コントロールボタンの → [10秒]または[切]を選ぶ
画像サイズ	MENUボタン → [画像サイズ]で[大]または[小]を選ぶ
フラッシュ	コントロールボタンの → [オート]または[発光禁止]を選ぶ または、MENUボタン → [フラッシュ] → [オート]または[切]を選ぶ
スマイルシャッター	コントロールボタンの

かんたん再生で見る

モードダイヤルをEASY(かんたん撮影)にしたままで ▶(再生)ボタンを押すと、再生画面の文字も大きく見やすくなります。また、使える機能は削除だけになります。

(削除)ボタン： 見ている画像だけを削除できます。
[実行]を選び、中央の●を押す。

MENUボタン： [1枚削除]では見ている画像を削除し、[全て削除]ではメモリーカードのときは日付内すべての画像、内蔵メモリーのときは内蔵メモリー内すべての画像を削除します。

状況を自動判別して撮る（おまかせシーン認識）

1 モードダイヤルをi（おまかせオート撮影）にする。

2 被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、（夜景）、（夜景&人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）の各マークとガイドが画面に出る。

シーン認識マークとガイド

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影する。

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶でi SCN（おまかせシーン認識）→ i SCN+（アドバンス）を選びます。
［アドバンス］では、失敗しがちな（夜景）、（夜景&人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

	1枚目	2枚目
(夜景)	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
(夜景&人物)	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
(三脚夜景)	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
(逆光)	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）
(逆光&人物)	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）

［アドバンス］に設定して撮影したとき、撮影前に［目つぶり軽減］と表示されるとカメラは自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像を自動的に選択して記録します。

パノラマ画像を撮る（スイングパノラマ）

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます。

1 モードダイヤルを▭（スイングパノラマ）にする。

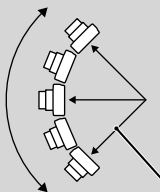
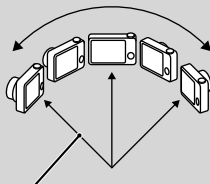
2 撮りたい被写体の端にカメラをあわせ、シャッターボタンを深押しする。

3 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ご注意

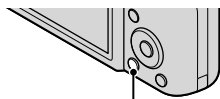
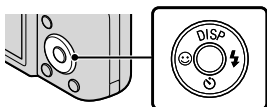
- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

中心からの半径を小さくする。

顔にピントを合わせて撮る（顔検出）

カメラが人物の顔を判別して、顔にピントを合わせます。ピント合わせの優先対象を設定できます。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼/◄/►で（顔検出）→ 好みのモード → 中央の●を押す。

（切）：顔検出機能を使わない。

（オート）：カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。

（こども優先）：子どもの顔を優先してピント合わせする。

（おとな優先）：大人の顔を優先してピント合わせする。

優先したい顔を選択する

① 顔検出中に、コントロールボタン中央の●を押す。
左端の顔が優先顔として選択され、枠がオレンジ色の［ ］に変わる。

② 中央の●を押すと、優先顔は右の顔に移動する。
選択したい顔に［ ］のオレンジ枠があたるまで、これを繰り返す。

③ 選択を解除したい場合は、右端の顔までオレンジ枠を移動させ、もう一度中央の●を押す。

笑顔を逃がさず撮る(スマイルシャッター)

1 コントロールボタンの ☺(スマイル)を押す。

2 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの◀を超えると、自動で撮影される。もう一度☺(スマイル)ボタンを押すと、スマイルシャッターが終了する。

- スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

顔検出枠

スマイル検出感度インジケーター

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

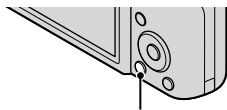
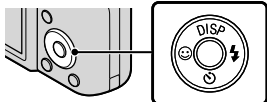
③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。

---

1 MENUボタンを押す。

---

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で 4:3 14M（画像サイズ）→ 好みのサイズ → 中央の●を押す。

静止画画像サイズ	説明
4:3 14M（4320×3240）	A3ノビサイズまでの印刷
4:3 10M（3648 × 2736）	
4:3 5M（2592 × 1944）	L/2L/A4サイズまでの印刷
4:3 VGA（640 × 480）	Eメールに添付
16:9 11M（4320 × 2432）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3までの印刷
16:9 2M（1920 × 1080）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞

パノラマ画像サイズ	説明
STD（標準） （横：4912 × 1080） （縦：3424 × 1920）	標準サイズで撮影
WIDE（ワイド） （横：7152 × 1080） （縦：4912 × 1920）	長いサイズで撮影

動画画像サイズ	平均ビットレート	説明
720 FINE 1280 × 720（ファイン）	9Mbps	ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影
720 STD 1280 × 720（スタンダード）	6Mbps	ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影
VGA VGA	3Mbps	WEBアップロードに適したサイズで撮影

ご注意

- 16:9で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 **コントロールボタンの(セルフタイマー)を押し、▲/▼で好みのモード → 中央の●を押す。**

OFF(切)：セルフタイマーを使わない。

10(10秒)：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。解除するにはもう一度 を押す。

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。

2(2秒)：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

(自分撮り１人)/(自分撮り２人)：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。

設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。カメラを動かさないでください。

「自分撮り」で自動撮影

液晶画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、液晶画面から顔が外れるのを防ぐことができます。

- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

フラッシュモードを選ぶ

1 **コントロールボタンの⚡(フラッシュ)を押し、◀/▶で好みのモード → 中央の●を押す。**

⚡AUTO(オート)：光量不足または逆光と判別したとき自動で発光する。

⚡(強制発光)：必ず発光する。

⚡SL(スローシンクロ)：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

(発光禁止)：発光しない。

ご注意

- おまかせオート撮影、かんたん撮影時は、[オート]と[発光禁止]のみ選べます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。

画面の表示を変える

1 **コントロールボタンのDISP(画面表示設定)を押し、▲/▼で好みのモードを選ぶ。**

(明るい+情報表示なし)：画面を標準よりも明るくして、画像のみを表示する。

(明るい+画像データ)：画面を標準よりも明るくして、情報を表示する。撮影した画像の情報を表示する。ヒストグラムも表示される。

(明るい)：画面を標準よりも明るくして、情報を表示する。

(標準)：画面を標準の明るさにして、情報を表示する。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 **モードダイヤルを SCN(シーンセレクション)にする。**

シーンセレクションの項目一覧が表示される。

2 **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で好みのモード → 中央の●を押す。**

ほかのシーンにしたいときは、MENUボタンを押して、選び直す。

ISO（高感度）：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

（アドバンストスポーツ撮影）：スポーツなど動きのある被写体を撮影するときに使用する。

（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

（夜景＆人物）：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

（料理）：マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。

（ペット）：ペットを最適な設定で撮影する。

（ビーチ）：海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録する。

（スノー）：雪景色などの画面全体が白くなるようなシーンで雰囲気を損なわずに撮影する。

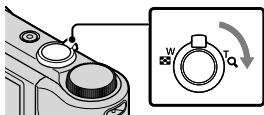
（打ち上げ花火）：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

ご注意

- モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

拡大して見る（再生ズーム）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、Q（再生ズーム）レバーをT側に動かす。

画像中央を中心に、2倍に拡大される。

2 倍率や拡大位置を調整する。

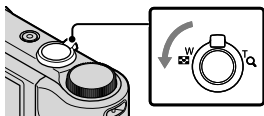
全体の中で
現在表示されている部分

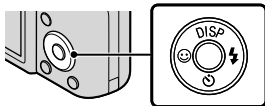
Qレバー：倍率拡大
ズームレバーのW側：倍率縮小
コントロールボタンの
▲/▼/◀/▶：ズーム位置変更

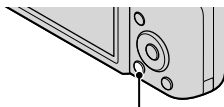
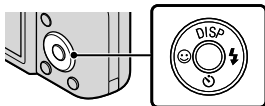
• ズームを解除するには、コントロールボタン中央の●を押す。

素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、▦（インデックス）レバーをW側に動かす。

• ▦（インデックス）レバーをもう一度動かすと、更に細かい一覧表示画面になる。
• [ビューモード]が[日付ビュー]のときは、更に細かい一覧表示中に▦（インデックス）側へレバーを動かすと、カレンダー表示ができる。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。

- コントロールボタン中央の●を押すと、1枚再生に戻る。

音楽といっしょに再生する(スライドショー)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で(スライドショー)→[音楽付きスライドショー]を選び、中央の●を押す。

3 コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

- スライドショーを終了するには、コントロールボタン中央の●を押す。

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲（BGMファイル）を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして（41ページ）、下記手順を行います。

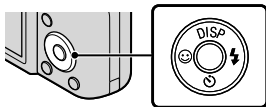
① MENUボタン → （設定） → （本体設定） → ［BGMダウンロード］ → 中央の●

② 本機とパソコンをUSB接続する。

③ 「Music Transfer」を起動して操作する。

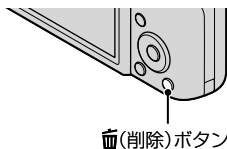
詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

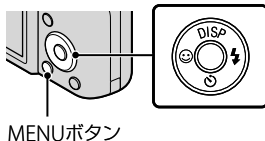
動画を見る

1 **（再生）ボタンを押して画像を再生し、コントロールボタンの▶/◀で動画を選ぶ。**

2 **中央の●を押す。**

コントロールボタン	再生中にできること
●	再生/停止
▶	早送り
◀	早戻し
▼	音量調節画面表示 • ▲/▼で音量調節し、中央の●で表示が消える。

削除する

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、🗑(削除)ボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼で好みのモードを選ぶ。

日付内全て/フォルダ内全て：表示している日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

画像選択：何枚か選んで削除する。画像を選んで中央の●を押し、MENUを押して実行する。

この画像：見ている画像を削除する。

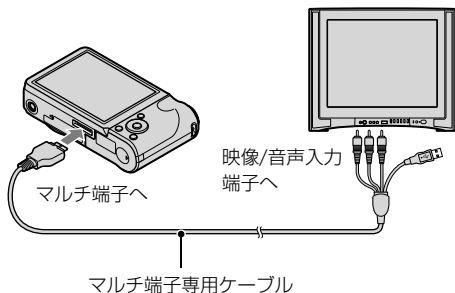
終了：削除を中止する。

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① MENUボタンを押す。
② コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押す。
③ ▲/▼/◀/▶で(メモリーカードツール)または(内蔵メモリーツール)を選び、[フォーマット] →中央の●を押す。
④ [実行]を選び中央の●を押す。

テレビで見る

1 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル(付属)でつなぐ。

ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむときは

- HD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。「Type2b」対応のHD出力アダプターケーブル(別売)をお使いください。
- あらかじめ、設定画面で(本体設定)の[コンポーネント出力]を[HD(D3)]に設定してください。

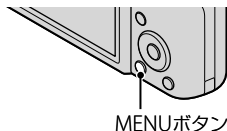
プリントする

PictBridge対応プリンターをお持ちの場合は、以下の手順でプリントできます。

1 マルチ端子専用ケーブル(付属)を使って、本機とプリンターを接続する。

2 本機とプリンターの電源を入れる。

接続が完了すると、画面にマークが表示される。

3 MENUボタン → コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で(印刷)を選び、好みのモード → 中央の●を押す。

(この画像):見ている画像を印刷する。

(画像選択):コントロールボタンの◀/▶で画像を選び、中央の●を押す。

4 希望の設定項目を選び、[実行]を選んで中央の●を押す。

画像がプリントされる。

ご注意

- プリンターに接続できなかった場合は、(本体設定)の[USB接続]を[PictBridge]にしてください。
- プリンターによっては、パノラマ画像を印刷できない場合があります。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーしてプリントサービス店にお持ちください。

コピー方法: MENUボタン→ (設定)→ (メモリーカードツール) → [コピー] → [実行]

その他詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

画像に日付を入れるには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時に日付が重なってしまうことを防ぐためです。

お店でプリントする：

日付を挿入してプリントするよう依頼できます。詳しくはプリントサービス店にお問い合わせください。

自宅でプリントする：

PictBridge対応プリンターに接続し、再生メニュー → [印刷] → [日付]を[年月日]または[日時分]にします。

PMBで画像に日付を挿入する：

付属のソフトウェア「PMB」をパソコンにインストールして（41ページ）、画像に直接日付を挿入できます。日付挿入した画像をプリントすると、プリント設定によっては日付が重なってしまう場合があります。ご注意ください。「PMB」について詳しくは、「PMBヘルプ」（44ページ）をご覧ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB」が収録されています。
詳しくは、PMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または「PMBヘルプ」（44ページ）をご覧ください。

操作1：「PMB」（付属）をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア（付属）をインストールします。「PMB」と同時に「Music Transfer」もインストールされます。
• コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

---

1 **パソコンの環境を確認する。**

「PMB」、「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7

CPU：Intel Pentium III 800 MHz以上（HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.20 GHz以上）

メモリ：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上）

ハードディスク（インストール時に必要な容量）：約500 MB

ディスプレイ：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。
ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

2 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールを進める。

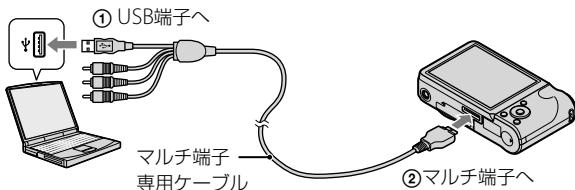
- インストールするには途中でカメラとパソコンを接続する。

5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

操作2：「PMB」で画像をパソコンに取り込む

1 **充分に充電したバッテリーを本機に入れ、▶（再生）ボタンを押す。**

2 **本機とパソコンをつなぐ。**

本機の画面に「接続中」と表示される。

- 通信中は本機の画面に が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

3 **[取り込み開始]をクリックする。**

その他詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

操作3：「PMBヘルプ」を見る

1 デスクトップ上の（PMBヘルプ）をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBヘルプ]の順にクリックする。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマルチ端子専用ケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。ACアダプター AC-LS5A（別売）にマルチ端子専用USB・A/V・DC INケーブル（別売）を接続してのご使用をおすすめします。

「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし、「PMB」は対応していません。「Music Transfer」はインストールできます。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：

USB接続: Mac OS X（v10.3 ～ v10.6）

Music Transfer/PMB Portable: Mac OS X（v10.4 ～ v10.6）

「PMB Portable」を使う

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB」がインストールされていないパソコンからも、画像を簡単にネットワークサービスへアップロードできます。
詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

1 本機とパソコンを接続する。

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが表示される。
Macintoshのときは[PMBPORTABLE]が表示される。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

2 [PMB Portable]を選ぶ。

Macintoshのときは[PMB PORTABLE]フォルダの中の[PMBP_Mac]をクリックする。

使用許諾画面が表示される。

3 画面の指示に従って設定を行う。

「PMB Portable」が起動する。

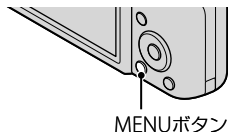
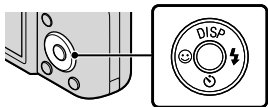
その他詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 「PMB Portable」使用時は必ず、ネットワーク接続してください。

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で（設定）を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で（本体設定）を選び、［操作音］ → 好みのモード → 中央の●を押す。

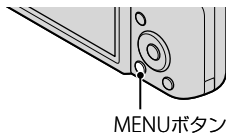
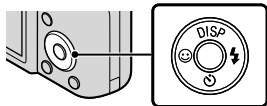
シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

大/小：コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。音を小さくしたいときは［小］にする。

切：音は鳴らない。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
お買い上げ時の状態に戻すには、(設定) → (本体設定) → [設定リセット]で戻せます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ。
再生時は、中央の●を押して決定する。

3 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

撮影時のMENU

項目	説明
シーンセレクション	あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影する。 （高感度/ソフトスナップ/アドバンストスポーツ撮影/風景/夜景＆人物/夜景/料理/ペット/ビーチ/スノー /打ち上げ花火）
撮影方向	スイングパノラマ撮影のとき、カメラを動かす方向を設定する。 （右/左/上/下）
画像サイズ	画像サイズを設定する。 （4:3 14M/4:3 10M/4:3 5M/4:3 VGA/16:9 11M/16:9 2M） （STD 標準/WIDE ワイド） （720 FINE 1280×720（ファイン）/720 STD 1280×720（スタンダード）/VGA VGA）
連写設定	1枚撮影、連写から撮影モードを選べる。 （1枚撮影/連写）
ブラケット設定	ブラケット撮影の設定をする。 （BRK OFF 切/±0.3 EV EXP ± 0.3/±0.7 EV EXP ± 0.7/±1.0 EV EXP ± 1.0/BRK WB 色合い（ホワイトバランス））
明るさ（EV補正）	露出を手動調整する。 （－2.0EV ～ +2.0EV）
ISO	ISO感度を設定する。 （ISO AUTO オート/ISO 80 ～ ISO 3200）
色合い（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （WB AUTO オート/太陽光/曇天/蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3/電球/WB フラッシュ /ワンプッシュ /SET ワンプッシュ取込）
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 （マルチAF/中央重点AF/スポットAF）
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。 （マルチ/中央重点/スポット）

項目	説明
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 （iSCNオート/iSCN+アドバンス）
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 （大笑い/普通の笑顔/ほほ笑み）
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 （切/オート/こども優先/おとな優先）
DRO	明るさとコントラストを最適化する。 （切/スタンダード/プラス）
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 （オート/切）
手ブレ補正	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。 （スタンダード/アクティブ）
（設定）	本機の設定を変更する。

再生時のMENU

項目	説明
（スライドショー）	画像を連続再生する。 （連続再生/音楽付スライドショー）
（ビューモード）	ビューモードの切り換えを行う。 （日付ビュー/フォルダビュー（静止画）/フォルダビュー（動画））
（加工）	画像を加工して別ファイルで保存する。 （トリミング（リサイズ）/赤目補正/ピントくっきり補正）
（削除）	画像を削除する。 （この画像/画像選択/日付内全て/フォルダ内全て）
（プロテクト）	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。 （この画像/画像選択）
DPOF	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 （この画像/画像選択）

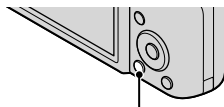
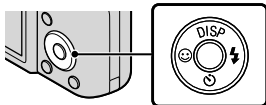
カメラの設定を変える

項目	説明
(印刷)	PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。 （ この画像/ 画像選択）
(回転)	静止画を左右に回転する。
(再生フォルダ選択)	再生したい画像の入っているフォルダを選択する。
(設定)	撮影機能以外の、本機の設定を変更する。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

1 **MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。**

2 **コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押して決定する。**

3 **▲/▼/◀/▶で項目を選び、中央の●を押す。**

4 **MENUボタンを押して、設定画面を消す。**

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	AFイルミネーター	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	グリッドラインを画面に表示するかどうかを設定する。
	表示画質モード	撮影時の液晶画面の画質を設定する。
	デジタルズーム	デジタルズームの設定をする。
	縦横判別	縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤く写るのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を検出するとメッセージを表示する。
本体設定	操作音	本機を操作したときに鳴る操作音を変更したり、消したりする。
	表示言語	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	機能ガイド	本機を操作したときに、機能の説明を表示するかどうかを設定する。
	デモモード	スマイルシャッター、おまかせシーン認識のデモンストレーションの有無を設定する。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	コンポーネント出力	HD出力時、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定する。
	ビデオ信号出力	接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定する。
	USB接続	パソコンまたはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	「Music Transfer」を使ってBGMの入れ換えをする。
	BGMフォーマット	本機に入っているBGMをすべて削除する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	パワーセーブ	オートパワーオフまでの時間を設定する。
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット（初期化）する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット（初期化）します。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画/パノラマ画

（単位：枚）

サイズ ＼ 容量	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約45MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
14M	7	301	605	1225	2496	4932
10M	9	402	808	1637	3334	6588
5M	14	582	1168	2366	4819	9524
VGA	284	11760	23600	47810	97350	192380
16:9（11M）	8	365	733	1484	3023	5974
16:9（2M）	47	1961	3934	7968	16220	32060
ワイド（横）	12	516	1035	2097	4270	8438
標準（横）	15	625	1255	2543	5178	10230
ワイド（縦）	10	423	849	1719	3502	6920
標準（縦）	10	442	887	1797	3660	7232

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が99999枚より多いときは、「>99999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は約29分です。

（単位：時：分：秒）

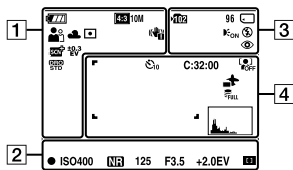
容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約45MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
1280×720（ファイン）	—	0:27:50	0:56:00	1:53:40	3:51:40	7:37:50
1280×720（スタンダード）	—	0:40:30	1:21:50	2:45:50	5:37:50	11:07:50
VGA	0:01:40	1:21:20	2:43:40	5:31:50	11:15:50	22:15:50

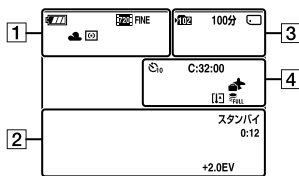
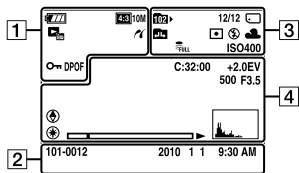
ご注意

- 連続撮影可能時間は、撮影環境によって異なる場合があります。DISP（画面表示設定）が［標準］の場合です。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールボタンのDISP（画面表示設定）で、液晶画面の表示が切り替わります（31ページ）。

静止画撮影時

- **EASY**（かんたん撮影）のときは、表示されるアイコンは制限されます。

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
4:3 14M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 11M 16:9 2M 720 FINE 720 STD VGA STD WIDE	画像サイズ
ISO	シーンセレクション
i P M	モードダイヤル（おまかせオート撮影/プログラムオート撮影/マニュアル露出撮影/スイングパノラマ/動画撮影）
	シーン認識マーク
WB	色合い（ホワイトバランス）
	測光モード
	手ブレ警告
iSCN+	おまかせシーン認識

その他

	連写設定
BRK	ブラケット撮影
±0.3 EV ±0.7 EV ±1.0 EV BRK WB	ブラケット設定
DRO STD DRO Plus	DRO
[☻]	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.4 S P	ズーム
	PictBridge接続
	プロテクト
DPOF	プリント予約
×2.0	ズーム
	ビューモード

101-0012	フォルダ-ファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

2

表示	意味
●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	明るさ（露出補正）
	フォーカス
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）

3

表示	意味
102	記録フォルダ
102	再生フォルダ
96	記録可能枚数
12/12	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
100分	記録可能時間
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
	フォルダ移動
ON	AFイルミネーター
	赤目軽減
	測光モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
AWB 1 2 3 WB	色合い（ホワイトバランス）
ISO400	ISO感度
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告

4

表示	意味
	セルフタイマー
C:32:00	自己診断表示
	訪問先
	温度上昇警告
	顔検出
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
	AF測距枠
+	スポット測光照準
+2.0EV	露出補正値
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値
	再生
	再生バー
00:00:12	カウンター
	方位
	GPS情報
35° 37′32″N 139° 44′31″E	緯度・経度表示
	ヒストグラム • 表示不能のときは⊗が表示されます。

	音量

その他

もっと詳しく知りたい（サイバーショットハンドブック）

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

- 「サイバーショットハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [サイバーショットハンドブック]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

故障かな?と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック(PDF)」も参照し、本機を点検する。**

画面に「C/E:□□:□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする(50ページ)。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください(13ページ)。

その他

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(13ページ)。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください(10ページ)。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[スタミナ]または[標準]のときに操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属）を使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲(10 ℃～ 30 ℃)で充電してください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(53ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(37ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPROデュオ"(Mark2)、"メモリースティックPRO-HGデュオ"
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)
- デモモードを[切]にしてください。

被写体の明るい部分から、白や紫などの線が出たり、画面全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。通常の静止画には記録されませんが、スイングパノラマや動画撮影では線やムラとなって記録されます。(明るい部分とは太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい箇所のことです。)

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本体で再生するには「PMB」をご使用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、"メモリーカード"などを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

つづき

⚠注意 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリーカード"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。

- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。

- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。

- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

禁止

⚠注意

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。

Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.76 mm（1/2.3型）カラー CCD原色フィルター
総画素数：約1450万画素
カメラ有効画素数：約1410万画素
レンズ：Sony G 10倍ズームレンズ
f=4.25 mm ～ 42.5 mm
（25 mm ～ 250 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.5（W）～ 5.5（T）
動画撮影時（16：9）：30 mm ～ 300 mm
動画撮影時（4：3）：36 mm ～ 360 mm
露出制御：自動、シーンセレクション（11 モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
連写の撮影間隔：約0.69秒
記録方式：
静止画：JPEG（DCF Ver. 2.0、Exif Ver. 2.21、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画：MPEG-4 Visual
記録メディア：内蔵メモリー 約45 MB、"メモリースティック デュオ"、SDカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.25 m～ 4.1 m（W）/約1.0 m～ 2.6 m（T）

[入出力端子]

マルチ端子 Type2b（AV出力（SD/HDコンポーネント）/USB/DC-in）
映像出力
音声出力（モノラル）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル：7.5 cm（3.0型）、TFT駆動
総ドット数：230 400（960×240）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパック
NP-BG1、3.6 V
NP-FG1（別売）、3.6 V
ACアダプター AC-LS5A（別売）、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.1 W
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：102.9×57.7×28.9 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BG1、メモリーカードを含む）：
約200 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

バッテリーチャージャー BC-CSGD/BC-CSGE

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、2 W
定格出力：DC 4.2 V、0.25 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約55×24×83 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約55 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BG1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：3.4 Wh（960 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビアプレミアムフォト"、"InfoLITHIUM(インフォリチウム)
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXC、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。(English manual download service is available.)

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2511

最初のガイダンスが流れている間に下記番号+「#」を押してください。
本機や付属品：「401」
付属ソフトウェア「PMB」：「404」
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2531

最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。
受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

4182809010